

牧草と園藝



水田肉用牛(経営)の推進と自給飼料の増産

飼料費の低減

- 生産過剰の心配がないのが牛肉生産です。牛は粗飼料生産で水田(耕地)を必要とし、牛の糞尿(堆きゅう肥)還元で水田の地力を高めます。
- 自給飼料の増産→低コスト牛肉(素畜)生産の流れは、まさに水田農業確立の生命線といえましょう。

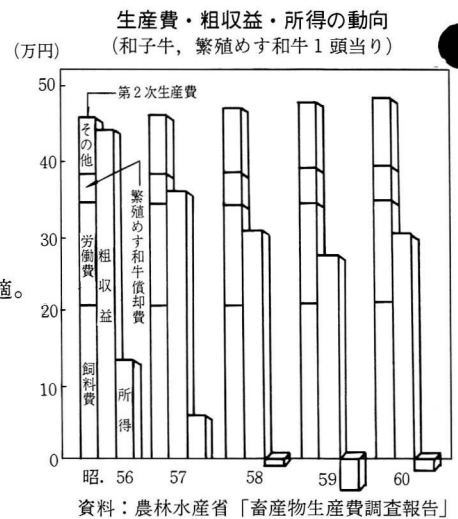
1 和牛繁殖は自給粗飼料90%給与が目標!!

	和牛繁殖	和牛肥育	乳用おす肥育
現状粗飼料給与率	69.6%	19.6%	9.3%
将来(昭和65年)実現を目指している粗飼料給与率	90.0	40.3	37.6

- 〈ポイント〉
- ① でんぷんより繊維が重要です。牧草類・スーダングラス等の乾草、サイレージが最適。
 - ② タンパクとビタミン・ミネラルに着目しよう。牧草類・ソルガムの青刈り、良質サイレージが好適。

2 和牛肥育・乳用おす肥育も40%自給を目標としよう!!

- 〈ポイント〉
- ① でんぷんと繊維のバランスが重要です。トウモロコシサイレージをベースに稲わら等を補給。
 - ② 乾物収量に着目しよう。夏型飼料作物の良質ホールクロップサイレージが好適。(水田転作情報(I)を参照下さい。)



3 青刈り・サイレージ・乾草利用ができる牧草をベースに!! (表紙③参照)

- 東北・北陸・北関東・関東以西の中～高標高地帯
混播牧草地在り有利です。灌水できれば夏枯れ対策となり、品種選定も重要です。春播きは播種期が早いほど定着・持続性も良好。
- 関東以西～西南暖地
暖地型牧草が中心。乾田にはローズグラス、スーダングラス「ヘイスーダン」、やや湿潤地ではカラードギニアグラスが好適。いずれも、サイレージ調製は比較的難しく、安全のために乳酸菌スノーラクトLを活用します。

4 湿田でも作れる耐湿性青刈り類!!

- 東北から九州まで…………… 青葉ミレット 水稻と同じように育苗・移植栽培もできる。2～3回刈で高収。播種量(kg/10a)：散播 2～3, 育苗・移植 0.5
- 西南暖地向き(やや湿田)…………… シコクピエ パールミレット テオシント ソルガム

排水が良いほど収量性・利用性が向上します。